

「旭市海岸減災林 3,000 本植樹祭」 参加報告

文責：大滝順治

東日本大震災から 4 年も間近になった 3 月 8 日、千葉県では最も甚大な被害を受けた、房総半島九十九里浜海岸北端に在る旭市で行われた植樹祭に、「地球の緑を守る会」から 18 名が参加しました。この度の植樹は減災林として、津波が襲った場合直接波を受ける事になる、防潮堤の海側に植樹するという全国で初の試験的植樹法でした。タブノキ、ヤブツバキ、クロマツ、マサキ等 13 種の木 3000 本を植樹しました。参加者全員に軍手、移植ごて、ドリンク、タオル旭市産のおかきが入ったナップサックが配られました。

日本政府は国土強靱化計画に、総額 200 兆円を掛けて取り組んでおり、旭市での植樹も国家プロジェクトの一つです。

式典では明智忠直旭市長の挨拶の後、衆議院自由民主党が国土強靱化計画に取り組んでいる会長代行の挨拶・副会長ら 6 名の国会議員の紹介が有り、国土交通省からも数人が参席。植樹指導として千葉大学大学院教授と大学院生多数が参加しておりました。旭市では植樹祭に当初 500 名の参加者を募集したところ、当日は 600 名が参加し盛大に行われました。

式典までは風雨の悪天候でしたが植樹の時は雨も止み絶好の植樹日和となりました。

植樹終了後津波タワーの見学、1703 年房総沖を震源とする元禄大地震による大津波で(全国で 1 万人以上、九十九里浜一帯で 2387 名の死者)の津波塚を訪れ全体で鎮魂の祈りをささげ、その後育苗床候補地を下見し、房総特産物展で休憩の後、無事終了しました。感謝

式典会場：旭市飯岡ユートピアセンター



式典会場の一部

明智旭市長



中島さん夫妻

2015/03/08



戸石さん。上山夫人

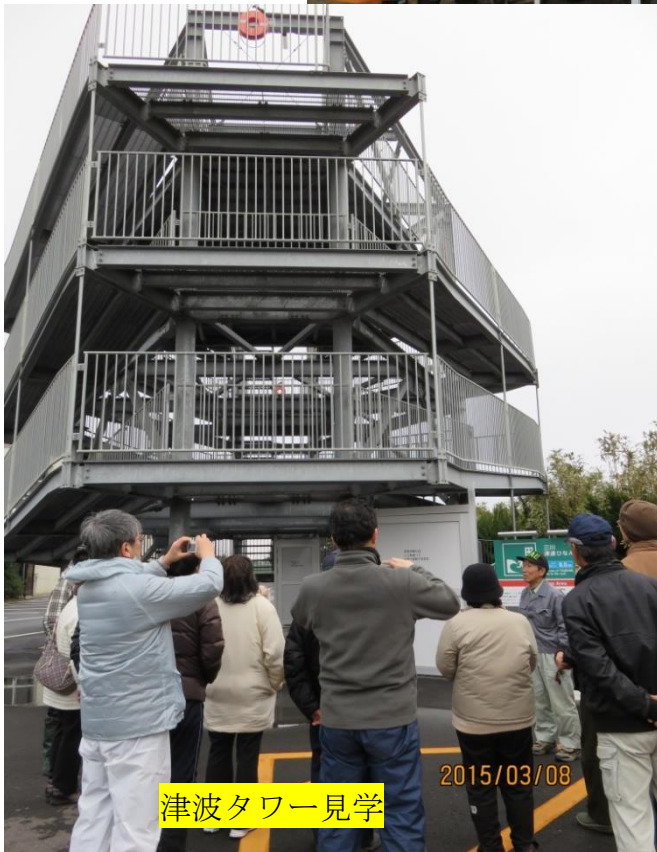
2015/03/08



NPO地球の緑を守る会

2015/03/08

植樹後 2名が写っていません



津波タワー見学

2015/03/08



赤澤夫人と森岡夫人 (初参加)

2015/03/08